

*このスクーリングは、HJ56とFD22の合同開講です。FD22の開講は、2026年度限りです。

専門教育科目	講義科目
--------	------

科目名：	社会心理学		科目コード	HJ56	
科目主査：	池田 るり子	担当講師：	池田 るり子、小林 孝雄、堀内 勝夫	単位	2
				配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		
心理学の研究分野の中でも、特に人の行動に影響を及ぼす対人関係や環境要因に着目したのが、社会心理学です。本科目では、社会心理学の歴史、目的と研究領域を示す「社会心理学の成立とその独自性」をはじめとして、人との関わりの中で、個人が他者と関わることで、どのように態度や行動を変え、また、他者からの影響だけでなく、個人が生まれ育った環境や文化の影響を受けどのような考え方や行動をするか、社会心理学の研究課題の中から、社会心理学の理解と興味を深めていきます。					
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：			
履修の前提となる知識 その他特記事項	テキストを熟読し、重要なポイントを目次やテキストに付箋などマークをつけ、どこに何が記述されているか整理しておきましょう。				
テキスト	『グラフィック社会心理学第3版』池上 知子、遠藤 由美共著,サイエンス社,2024年				
この科目の到達目標	①社会心理学の基礎知識を正しく理解して説明できるとともに、社会心理学の理論や諸問題へのアプローチについても適切に理解できる。 ②社会心理学の理論や概念を身近な現象の中でとらえ、応用することができる。				
成績評価の方法	授業態度を重視し、授業時間中の集中度合い、個人ワークへの取り組み、授業外学習（課題提出）を評価対象とします。また、最終試験は、○×選択問題20問と2択選択問題20問。記述問題を20点とし、1問出題します。授業をきちんと聞くこと、重要な点はノートまたはテキストにメモしておくことをおすすめします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（未入力提出不可）をもって、採点対象とする。				
事後学習	テキストを丁寧に読み込み、基礎用語の意味や定義を正確に理解したことを客観的に振り返り、知識や理論・様々なアプローチ方法が実際場面でどう応用できるか、自身の過去および現在の活動状況に照らし合わせて再考し、自分の言葉で説明できるようにする。				
事後学習の参考文献	『わかりやすい社会心理学』榎本 博明(著),サイエンス社,2023年 『イラストレート社会心理学』齊藤 勇(著),誠信書房,2023年 『新版 暮らしの中の社会心理学』安藤 香織/杉浦 淳吉(編著),ナカニシヤ出版,2024年				
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。					